

●昆虫観察会多くのご参加でした。 7月5日(土)

オオムラサキの成虫発見のための2つの取り組み

① 10:00 里山農園付近での昆虫観察会

開会挨拶で桜谷先生から 国蝶オオムラサキの切手が紹介されました

確認できた生き物は 30 種類

クワガタムシ。タマムシ。カナブン。ウスバカゲロウ（アリジゴク幼虫）。コクワガタ。

ノコギリクワガタ オスメス。ミヤマクワガタ オスメス。ハグロトンボ。カキバ（幼虫 ねむの木幹）。オオカマキリ（幼虫）。コカマキリ（幼虫）。シオカラトンボ。チョウトンボ。オオシオカラトンボ。ハラビロトンボ。ツマグロヒョウモン。コムスジ。ジャノメ。ヤマトシジミ。アオスジアゲハ。

コオニヤンマ。ゴマダラチョウ。イチモンジセセリ。スズメバチ。アメリカザリガニ

◎ オオムラサキの成虫の飛翔は未確認でした ◎カブトムシの成虫も出会えませんでした

◎ オオムラサキは中学生が6月29日17:30頃に観察棟上空での飛翔を確認しています

②7月5日 奈良県の生駒山山頂付近で野生のオオムラサキの調査 14:00~16:30

参加者 桜谷保之さん（元近畿大学教授 昆虫学者）他10名 内子ども5名（中学生2名）

ひっきりなしに飛び交うオオムラサキが確認できました。飛翔の様子を言語化しますと、ひらひら、ヒューヒュー、急旋回、鳥や別のチョウが飛んできたら素早く追うなど、縄張り争い・テリトリー争いで激しく飛びかっています。そして葉や電柱などにとまって休憩 羽をとじたり 開いたり触覚がピンと伸びています。

下からもオオムラサキ独特の模様・色（紫色） 羽形が確認できました。

動画撮影 写真撮影もできました2時間 調査・観察は休みなしちょっと休憩したらまたどこかで オオムラサキがヒュー——と滑空、双眼鏡 カメラ撮影 忙しくもありワクワク感満載の2時間でした。参加者も興奮気味で野生の状態のオオムラサキの飛翔に満喫されたようでした。汗だく びしょ濡れ、しかしとても充実した時間でした。



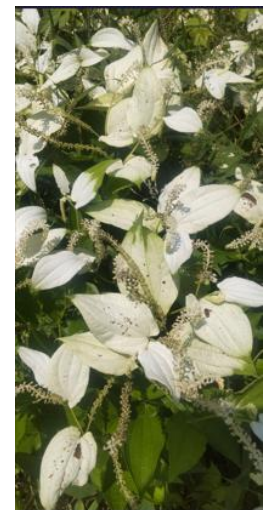
樹木の上を飛ぶオオムラサキ

中沢君や吉村君の観察記録報告

2025/7/6 木津川のチョウの観察調査結果 精華町菱田

桜谷保之先生 中沢洋斗 吉村開

アゲハ科			
キアゲハ	ナミアゲハ	クロアゲハ	ジャコウアゲハ
シロチョウ科			
モンシロチョウ	モンキチョウ	キタキチョウ	
シジミチョウ科			
ツバメシジミ	ベニシジミ		
タテハチョウ科			
ゴマダラチョウ	キタテハ	ツマグロヒョウモン	ヒメウラナミジャノメ
ジャノメチョウ			
セセリチョウ科			
チャバネセセリ	ダイミョウセセリ		
◎特徴			
エノキの大木100本以上存在			
◎生育植物			
アカツメクサ	ヒメジョオン	ウマノスズクサ	

農園にきれいに咲いた
ハンゲショウ

●「ふるさと京田辺を学ぶ講座」が開催されます。7月26日(土)10:00 から

京田辺市文化協会が夏休みの宿題や工作に役立つとした催しを主催されます。参加申し込みは文化協会に申し込んでください。このような取組みに里山の会が招かれたのは初めてで、活動を通じてわかる範囲での報告なら可能として大役をお引き受けしました。また中学3年生の中沢君も里山農園付近での昆虫観察についての報告を準備してくれていますのでご期待ください。

「自然」とテーマが大きく広いものなので、どのように説明するのか大変悩みました。京田辺市(旧田辺五ヶ村)は稲作中心として茶産業、一部養蚕業、そして金銀糸工場に移り、交通条件が優れているので同志社大学などの新設と共に人口が増えて成長が維持できている貴重な地域でしょう。そして農地を残しつつ南西部では豊かな自然をもっているままだと思われます。こうした点を踏まえて「自然を大切に作る仲間の輪を大きくする」として活動を展開して学び合ってきたところをお話できればと思います。不十分なところが随分あるかと思いますが、そのところはこれからの活動を通じて共に深め合えればと思っています。

●テントウムシ調べ 7月26日(土)

生物多様性センターから案内が来ましたのでお知らせいたします。里山の会でいつもお世話になっている桜谷保之先生はテントウムシの研究家です。府立植物園で探してみましよう。13:30~14:30までの60分間の短時間の取り組みですが熱中症対策はしっかりお願いいたします。参加費は無料ですが、植物園への入園料が必要です。先生はこの後16時から京田辺市普賢寺での「夜の生き物調べ」に講師としてお願いをしています。こちらの方にも是非ご参加ください。(終了は20時を予定しています)

●夜の生き物調べ 7月26日(土) 16:00~20:00まで

集合：里山農園(京田辺市普賢寺水取)

近鉄京都線：三山木駅下車 車で15分 申し込みがあれば送迎できます。ご連絡ください。

講師には前近畿大学教授の桜谷保之先生が名古屋からのお越しをお願いしています。生き物を誘うシートを張って夜間照明を行って集まってくる生き物を調べます。これまでは4万匹や2万匹の生き物が集まってました。今年はどういったものが集まってくるのでしょうかたのしみです。里山農園付近ではノコギリクワガタなどが沢山トラップに集まってきました。今年はカブトムシが見つかるのが難しいといわれています。調査行動は夜ですから小学生は保護者同伴でご参加ください。長袖・長ズボン そして帽子、手ぬぐいと水筒は必要です。出来れば夕食の準備も必要です。ご参加は里山の会 fddb257@yahoo.co.jp まで。氏名・年齢・住所・電話・保護者名を記入してください。参加費は無料です。

夏の観察会
みんなで探そう
参加費 無料
※別途、植物園入園料が必要
夏の日
京都府立植物園
植物園会館2F研修室+十園内
7月26日(土) 13:30~14:30
※猛暑の場合は研修室内での講義に変更予定
※大雨決行、ただし雨天・熱中症特別警戒アラート発令時は中止
テントウムシってかわいい虫だけど、
喜が見えないような...
そう感じたことはありませんか？
夏になったらテントウムシはどこに行くのか...その謎にせまるべく、
テントウムシの専門家とともに、夏のテントウムシ探索ツアーをおこないます。
暑い夏を乗り切る、テントウムシたちの術をお伝えします！
お申し込み方法
左の二次元バーコード、
またはメールにてご連絡
ください。
2組単位、年齢別、空きがあれば当日受付可
(幼稚園・保育園以上対象・保護者同伴)
中学生以上は保護者なしで参加可能
参加者プレゼント
○テントウムシ見分けシート試作品
○オリジナルステッカー
(きょうと生物多様性センター 制作)
※イベントは2025年度「きょうとのおいしさの国産」のついでイベントとなります。
今年の「きょうとのおいしさの国産」はテントウムシをテーマにします。
(7~8月開催、2026年3月まで公開予定 詳細はHPに予定します)
協力のお願い
・当日は園内を45分ほど散策します。熱中症対策をお願いします。
・熱中症特別警戒アラートが発令された場合は中止の連絡をします。
・植物園内は撮影禁止です。近くで撮影したい場合はスタッフがサポートします。ルールを守って観察を楽しみましょう。
お問い合わせ先
きょうと生物多様性センター
090-4496-3887
contact@kyotobdc.jp
主催 きょうと生物多様性センター (講師) 桜谷 保之氏 協力 京都府立植物園
(元近畿大学農学部教授)

2025ふるさと京田辺を学ぶ講座①
自然大好き
キッズ集まれ!
京田辺市周辺の
自然
&
自然の素材で
工作をつくろう
7月26日(土)
場所: 京田辺市中央公民館 時間: 10:00~11:30
入場: 無料 / 材料費: 300円 (工作を作る人数分)
対象: 主に市内在住、通学の小学生とその保護者
申込方法: QRコードを撮影し、申込フォーム
に必要事項を記入してください。
自然のことを教えてくれるのは...
NPO法人
やましろ
里山の会
自然を愛する仲間と輪を大きく
広げる活動をしています。
主催: 一般社団法人京田辺市文化協会 〒610-0333 京田辺市田辺丸山214
TEL: 0774-29-9118 (火~土 9:30~)
後援: 京田辺市・京田辺市教育委員会 メール: kyotanabe-hunka@natiok.jp

●使いやすく持ちやすいと竹エンピツにお褒めの言葉を多くいただいています。

その元々は割った竹をサンドペーパーで丁寧に研磨されているからです。この作業で泣き所は粉末が飛散して空気が汚染されてしまいます。特に夏場ですと飛散防止のために室内を密閉して冷房を働かせなくてはとても作業を続けられないのです。手工業で行うところに意味があるのですが、竹割作業の効率化と研磨作業の改善が前進させ改良出来ていないのが致命傷となっていました。この度、淀川電機製作所が7月14日午前9時30分にモデルを持参してみますのでご検討をくださいとの親切な連絡をいただきました。木下さんも願ったりかなったりの事なので日程調整をされてご参加されますので、都合のつく皆さんもご出席下さると有難いです。

●水辺を楽しむ木津川展【当日自由参加】 8月2日(土)10:00~15:00 場所：木津川流域センター

ミニプールでカヌー体験、ライフジャケット体験、木津川川ガキ団の発表紹介、木津川の生きもの・侵略的外来種ほか 主催：木津川出張所管内河川レンジャー

詳細はこちら https://www.river-ranger.jp/dtl/rc_0000002557.html



●里山農園の成果物提供の成果品場が2箇所出来上がる

ここ数年変わり映えのしない里山農園の栽培農業でした。隣接する農業地にご迷惑にならないように成長を続ける雑草を片付けることによりかなりの時間を割いてきました。栽培には力を入れては獣害に全滅されることが発生しましたと、スタッフの若返りもままならない中で、手のかからない栽培を取り組んできましたが、今年(2025年)社会貢献の出来る栽培農業を目指すべきではないかと提案があり、子ども食堂などへの提供に取り組もうと夏野菜の種まきや植付けをこれまでになく広く実行しました。また悩まされてきた獣害対策としてネットを張り巡らす対策を行いました。去年はアライグマに荒らされましたが、今年は効果があってか被害は現在出ておらず、スイカも大きく育っています。キュウリも順調です。しかしこの暑さでトマトとナスの成長に陰りがみられ気になっています。当初から懸念していた水対策の不十分さもありますが、獣害を防止できているのが大変うれしいところです。これからいよいよ本格的な夏野菜の収穫時になり、成長にスピードがついてきますので、朝早く涼しい時間での作業になります。ぜひとも皆様のご協力を切にお願い致します。



伊藤さんと太田さんが無人成果品場の設置を行っていただきました。大量の成果物を協力金販売で地域貢献ができる体制が完成しました。市役所に出勤される皆さんやご近所の主婦さんのお手伝いが出来ればと考えています。

●7月4日（金）数年ぶりの無人成果品場を設置
収穫したジャガイモ、キュウリ、万願寺、ピーマン、ナス、トマトの一部を大住の伊藤さん宅の庭先で置いていただきました。完売とはなりませんでした。10袋を協力していただきました。ご協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。また、定期的に開催しますので、ぜひお立ち寄りください。



無人販売(7/4)

●7月5日（土）は夏野菜が暑さでバテバテ

夏野菜が好む気温以上になっているからでしょうか？15時20分には35.1度（気象庁京田辺観測所）まで上昇しました。また、雨もふっていないからか、ナスとキュウリが特に元気がありません。追肥として、ハイポネックスと化成肥料と油かすをミックスしたものを施肥しました。

●7月8日（火）今日もですが、やっぱり夏野菜に元気ありません。

キュウリが暑さに負けているようなので、10本の苗木植付けをしました。また、草刈りも行いました。更に、鳥除けも設置しました。



鳥除けテープ張り



キュウリは鳥に食べられた